

日本高齢者生活協同組合連合会設立総会

2001年11月3日(土) 安田火災海上本社ビル・ホール

片山 信一 (日本高齢者生活協同組合連合会専務)

日本高齢者生活協同組合連合会が誕生しました。

1. 高齢協運動はここまで来ました

日本高齢者生活協同組合連合会が17の高齢者生協の参加のもと11月3日、設立されました。

高齢協は日本労働者協同組合連合会が構想・提唱し、「寝たきりにならない、しない」「元気な高齢者がもっと元気に」を合い言葉に、1995年に三重県で第1号を誕生させていらい日本全国に設立の取り組みを進めてきました。

98年には厚生省(当時)が「福祉を主たる事業とする生協」を認め、高齢協の生協法人認可が広がり、設立された29都道府県のうち22が生協法人となりました。事業的にも介護保険対応を中心とした福祉の分野で全国で約30億円となり、様々な活動の分野でも「高齢者の主張大会」「葬送講座」など各高齢協で取り組みが広まり、組合員数も約3万人となりました。

高齢協設立都道府県(北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・静岡・長野・富山・愛知・三重・和歌山・奈良・大阪・兵庫・岡山・広島・愛媛・香川・高知・福岡・熊本・宮崎・沖縄)

連合会構成高齢協生協(北海道・青森・岩手・山形・東京・神奈川・長野・愛知・三重・和歌山・大阪・兵庫・岡山・香川・高知・福岡・沖縄)

2. 11月3日の様子

(1) 設立総会

11月3日は、300人をこす参加者があり高齢協への期待の高さを実感しました。当日は、3500万人の会員を擁する世界最大の高齢者組織であるアメリカのAARPを代表してカンジャ会長、パーケル次期会長から「コミュニティーや社会に貢献する高齢者になろう」との挨拶がありました。

つづいて来賓でみえられた厚生労働省社会・援護局地域福祉課川井一心課長、東京商工会議所川村耕太郎常務、エイジング総合研究センター吉田成良常任理事、シニア学会理事濱口晴彦早稲田大学教授、日本労働者協同組合連合会菅野正純理事長の各氏からご祝辞をいただきました。

大内力会長理事から、隠居でなく顕居に、積極的に地域で活動し、社会に貢献しようと呼びかけました。

事業計画の柱として、高齢者の生活をまもり、豊かにしていく、社会とつながる場づくり、仕事おこしを、誰もが戦争の危機に怯えることのない、平和な社会づくり、2003年までに全県に高齢協を設立し、早期に100万人の組合員を実現していこうと確認されました。

議案は、それぞれ満場一致で可決されました。

(2) 記念集会

引き続きおこなわれた記念集会では、あら

ためてAARPカンジャ会長からAARPの掲げる指針と、めざすべき高齢者像について特別講演がありました。(6Pより全文掲載)

そして記念集会全体のいわば基調講演として日本医科大学竹内孝仁教授から「地域の問題に積極果敢に切り込んで、豊かな社会を築いてほしい」と期待が込められたお話がされました。

また、これまで各地で開催された「高齢者の主張大会」から代表して、群馬高齢協から「ふつうのおばさんがヘルパーとなり、人生が明るくなった」と阿部ナホ子さん(64才)、岡山高齢協から「農薬をかけられた青虫が死ぬことから、環境破壊を危惧する」話を児島みつゑさん(65才)がそして、兵庫高齢協から「97才になる母親へのメッセージ」を熱く語った堀之内八郎さん(73才)の3名の方々がすばらしい発表をしてくれました。

記念集会のフィナーレとして「新しい福祉社会のあり方を問う - 高齢社会の豊かさとは何か」と題してパネルディスカッションがおこなわれました。パネラーとして厚生労働省年金局長・辻哲夫氏、お茶の水女子大学教授・袖井孝子氏、埼玉県立大学教授・佐藤進氏、そして日本高齢者生活協同組合連合会副会長・永戸祐三氏がコーディネーターをつとめそれぞれに、「高齢者が社会の主体者として生きていくことの意味、自分自身の高齢期を自分なりに納得できる尊厳ある生き方とは何か、人間がまとも生きる、住めると思えるような社会を取り戻すために高齢者の役割は何か、地域のなかで何が出来るか」ということの問題意識を語り合いました。(詳細は日本労協新聞11月15日号参照)

(3) 祝賀交流会

設立総会、記念集会の後、祝賀交流会がにぎやかに催されました。AARPのカンジャ会長、パーケル次期会長、さらにはパネラーの方々も全員参加してくれました。

各地の高齢協からお祝いが披露されました。オープニングは、和歌山高齢協の中西理事長が、十八番(おはこ)である安来節の達者な踊りを披露。つづいて大阪高齢協生きがい事業部長・谷口豊基さんが落語「道具や」を一席、谷口さんは「浪華家万歩」の芸名を持つ本職。最後が香川・和服リフォーム部によるファッションショー、宮城・東京、神奈川、本部のメンバーもモデルで出演、AARPのお二人も大喜びでした。

かくして11月3日は、にぎやかに幕を閉じたのです。

今後ともみなさまのご協力を宜しくお願いいたします。

